

HIDWR

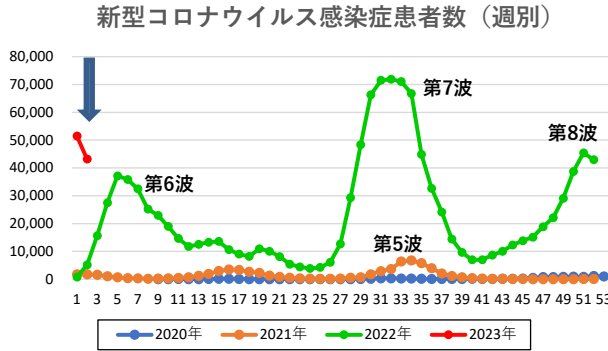
兵庫県感染症発生動向調査週報(速報) 2023年第2週(1月9日~1月15日)

兵庫県感染症情報センター(兵庫県立健康科学研究所)

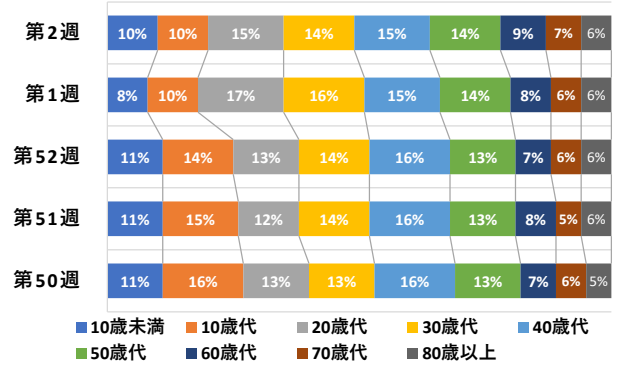
Hyogo Infectious Diseases Weekly Report

全国の情報は国立感染症研究所感染症疫学センターホームページにてご覧ください。<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

新型コロナウイルス感染症等に関する情報



新型コロナウイルス新規感染者の年齢階級別割合



兵庫県内の新型コロナウイルス新規感染者数は今週 **43,175** 人(先週 **51,439** 人)で、対先週比 0.8 倍となり、減少しました。

年齢別においては、20歳代及び40歳代が15%と最も多く、30歳代及び50歳代が14%となっており、30歳代以下の若い世代の占める割合が49%となっています。

新型コロナウイルス感染症は先週と比較して減少しましたが、インフルエンザの定点あたりの患者数は8.21人と、急激に増加しつつあります。また、学校における学級閉鎖等も多く報告されています。感染症の拡大を防ぐためにも、今後も引き続き基本的な感染症対策や積極的なワクチン接種をお願いします。

※2022年9月26日(月)から全国一律で全数届出の見直しが行われたため、集計方法が変更になりました。(健康フォローアップセンター等からの報告数を含めています。)

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

定点あたり患者数の上位10位の疾病

順位	疾病名	定点あたり患者数		増減	順位	疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	8.21	4.12	+4.09	6位	手足口病	0.18	0.23	-0.05
2位	感染性胃腸炎	5.52	3.26	+2.26	7位	RSウイルス感染症	0.16	0.06	+0.10
3位	流行性角結膜炎	0.40	0.06	+0.34	8位	咽頭結膜熱	0.14	0.18	-0.04
4位	突発性発しん	0.23	0.15	+0.08	9位	無菌性髄膜炎	0.07	0.00	+0.07
5位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.19	0.12	+0.07	10位	急性出血性結膜炎	0.06	0.00	+0.06

インフルエンザ

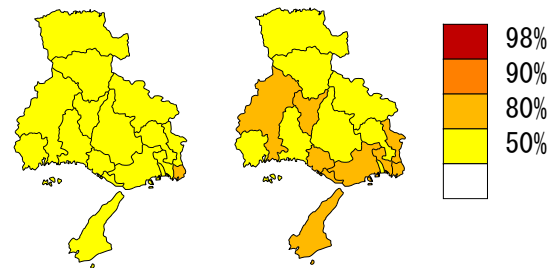
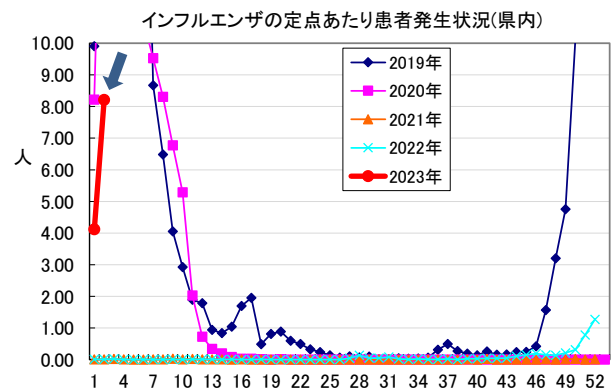
定点あたり患者数は、今週 **8.21 人**（先週 **4.12 人**）と増加し、県下 17 保健所では、尼崎市、伊丹、福崎保健所管内が、注意報レベルである定点あたり患者数 10.0 人を超えています。

直近の 5 週間に県内の定点医療機関から報告された患者 2,913 人の年齢分布では、5～9 歳 36%、0～4 歳 17%、10 歳～14 歳 11%の順で、15 歳未満が全体の 64%を占めています。

学級等の臨時休業発生状況では、今週、小学校 6 件、中学校 6 件、高等学校 2 件の学級閉鎖がありました。

また、当研究所では今シーズン、県内の患者から **AH3 亜型（A 香港型）** 15 件のインフルエンザウイルスを検出しています。

インフルエンザの予防には、ワクチン接種、手洗いが有効です。また、感染が疑われる場合は、マスクの着用、咳エチケット、早めの受診が重要です。



第1週

第2週

(一週間あたりの患者数が、各地域の過去5年間のデータの下からどれくらいになるかを、50,80,90,98%タイル値を基準に、色分けして表示しています)

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

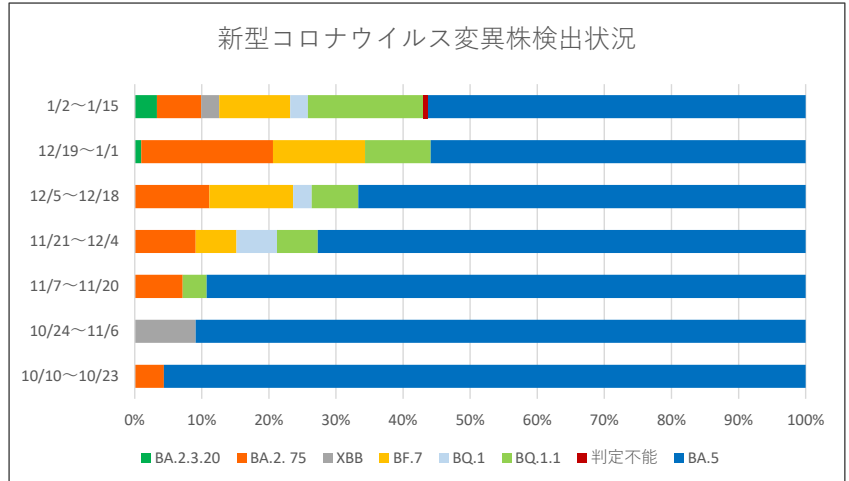
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 8 人 （保健所：神戸市 5 人、尼崎市 1 人、姫路市 1 人、龍野管内 1 人）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1 人 （尼崎市；有症者；男性 10 歳代；O157VT 型不明；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）（累積報告数 1 人；有症者 1 人、HUS 0 人）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	アメーバ赤痢 1 人 （加古川保健所管内；腸管アメーバ症；男性 60 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明）
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1 人 （加古川保健所管内；女性 40 歳代； <i>Enterobacter cloacae</i> ；感染地域：兵庫県；感染経路：手術部位感染）
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人 （尼崎市；男性 60 歳代；感染地域：国内；感染経路：創傷感染）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人 （洲本保健所管内；女性 70 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：飛沫・飛沫核感染；ワクチン接種歴：不明）
	侵襲性肺炎球菌感染症 1 人 （神戸市；男性 80 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：不明；ワクチン接種歴：不明）
	梅毒 4 人 （①神戸市；早期顕症梅毒 I 期；男性 40 歳代；感染地域：不明；感染経路：異性間性的接触、②神戸市；早期顕症梅毒 II 期；男性 30 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：同性間性的接触、③姫路市；早期顕症梅毒 II 期；女性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：異性間性的接触、④加東保健所管内；早期顕症梅毒 I 期；男性 20 歳代；感染地域：兵庫県；感染経路：性的接触）

<p>2023年第1週までに診断されたものの報告遅れ</p>	<p>結核 1人 レジオネラ症 1人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症 1人 侵襲性肺炎球菌感染症 2人 梅毒 4人 百日咳 1人</p>
--------------------------------	---

検査情報（兵庫県立健康科学研究所）

当研究所では、県内の新型コロナウイルス変異株の発生動向を把握するために、変異株 PCR 検査やゲノム解析を行っています。

10月10日から23日ではBA.5系統が96%を占めていましたが、新規感染者数の増加と共に、BA.2.75系統、BF.7系統、BQ.1.1系統等の注目すべき系統株が増加しました。これらは感染性や免疫回避能力が高まったとの報告もあり、注視していく必要があります。



※BA.5はBQ.1、BQ.1.1、BF.7系統を除く

今後XBB.1.5系統等、新たな変異株が出現する可能性もあり、引き続きスクリーニング検査やゲノム解析を通じて、監視を続けていく予定です。

目で見える動向（県内）

感染性胃腸炎	梅毒
<p>感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況（県内）</p>	<p>梅毒の累積患者数（県内）</p>
<p>定点あたりの患者数は5.52人（先週3.26人）で増加しました。</p>	<p>今週4人の報告があり、今年の累計患者数は10人になりました。</p>

この週報はホームページ (https://web.pref.hyogo.lg.jp/iphs01/kansensho_jyoho/infectdis.html) にも掲載しています。
 2022年4月1日からHPが新しくなりました。旧HPは閲覧出来なくなりましたのでご注意ください。
 また <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html> から国立感染症研究所感染症疫学センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。